

あの手 この手

あの手この手のマークの間のSは solution(解決)のSです。

第 166 号 2021 年 5 月 10 日 大和市民活動センター[拠点やまと] 発行

5月号
2021

ペテルギウス玄関
5月6日の生け花



表紙絵は「やまと国際フレンドクラブ」主催
「やまと国際アートフェスタ」入賞作品を
掲載しています。

今回のテーマ：
～ ささえたい、私たちの世界、いま私にできること ～
(株) リフォーマル賞

渡辺 鈴 さん(ベトナム)
深見小2年 の作品です。

タイトル : 「コロナを予防するには野菜は大切です。」
メッセージ: 野菜には栄養がいっぱいだから、たくさん食べて
健康に過ごしてほしいです。この絵を見て
さわやかな気持ちになってくれたらうれしいです。

「やまと国際アートフェスタ」は
草の根の国際交流、外国人支援を行いながら
「ともにくらすまち 大和」を考えていく
ボランティアグループ「やまと国際フレンドクラブ」
(IFC)主催で 毎年開催されています。



大和市民活動センター利用登録団体の 「更新手続き」をお願いします

現在、大和市民活動センターに登録している団体で、
登録の継続を希望する場合には **2021年6月末まで**
に登録更新手続きが必要となります。

登録更新手続きにあたっては今月号の「あの手この手」
に更新申請書を同封いたしますので、ご提出ください。

令和3年度大和市民活動推進補助金

対象事業決定

事業名: 「地域で多様性を認める子育て」推進事業

団体名: やまと療育教育推進プロジェクト

地域における多様性認める子育てを推進するため、
連続基礎講座や懇談会を実施します。

お問合せ: 公式 LINE : @izh8557r

Mail : yamato.ryoukyou.s.project@gmail.com

FMやまと
77.7 MHz



やまもり☆ホットスクランブル
大和市民活動センターだより
『やまとっこ☆みつけた』

第 1.3.5(火) 生放送
9:00 ⇒ 10:00

<4月の出演団体> 77.7MHz 9:00 お忘れなく! (再放送は当日の 15:00 と 21:00 です)

<出演しました> 録音 CD が大和市民活動センターにあります。

第 377 回 4/6 (火) 大和市民活動センター①

代表 望月 則男 (ZOOM 参加)
スタッフ 吉浜 学 サポーター 尾畑 翼

代表望月より大和市民活動センターの創立
に至るまでの歩みと現在の協働事業としての
活動概要について説明(「大和市新しい
公共を想像する市民活動推進条例」の
「新しい公共」に基づいて 2004 年に創立
され、現在は「大和市民活動センター管理運営事業」として
大和市民経済部 市民活動課と拠点やまとの協働事業として
運営されています。)
センターの WEB 担当スタッフ吉浜はパソコン相談、ハイブリ
ット会議の普及を目指してのマニュアル作成等、団体の一人
一人がオンライン会議に参加できるようにサポートするのを
目標に日々奮闘している様子が語られました。

サポーター尾畑さんは IT 関係が弱いセンターの為に SNS 系
の立ち上げを手掛ける等、フレッシュな視点から新しい提案
を打ち出してくれる頼もしい存在です。広報紙「あの手この
手」でインタビューを務めた「TSUBASA インタビュー」
では愛読者の存在を知り喜びを感じたとのこと。

3 名とも団体紹介の動画制作 (YouTube にて公開中) を手掛
けており、登録団体の方には動画制作の相談対応を、そして
多くの方に市民活動センター HP にアップされている団体紹介
動画を鑑賞していただきたいと呼びかけました。

今回の放送は FM やまと様の協力によってセンター初のハイブ
リット方式となり新たな方向性を見出すことが出来ました。

第 378 回 4/20 (火) 大和市民活動センター②

スタッフ 船越 英一 関根 孝子 辺見 弥生
櫻井 美紀子 (ZOOM 参加)

この 4 月からセンター業務に就いている船越は大和市役所勤務
時代の豊富な経験を持ち、15~6 年前には市民活動センターに
関わる業務に就いていたこともあり縁あつての巡り合わせ。
センターに新たな風を吹き込んでくれています。
大和市民活動センター運営委員の経験と市民活動・協働コー
ディネーターとして長いキャリアを持つ関根は市民活動相談の他
に広報紙「あの手この手」の編集まとめ役、市民活動拡大に繋
げるべく SNS 発信などを担当。櫻井はペテルギウス館内の掲
示、団体のニーズに合った助成金情報を集めてニュースレター
で配信。この番組に出演する登録団体の出演交渉とコーディネ
ート、ボランティア相談を担当する辺見は通常は付き添い同行
ですが今回は出演となり、改めてパーソナリティー今城さんの
進行の素晴らしさを実感しました。

大和市民活動センターを身近に感じていただきたいと、2 回に
渡る放送で全スタッフが登場しました。
それぞれの名前と担当する業務を
知っていただくことで、気軽に
センターに足を向けていただい
たらと思います。
これからも宜しくお願い致します。



<これからの出演予定>
第 380 回 5 月 20 日(火)「神奈川探龍倶部」

大和市民活動センターから展示コーナーのご紹介 団体・個人の活動を紹介することで みなさんの活動の成果を見て・聞いて・知ってもらいましょう!

大和華道協会



この作品は「花供養」として生けられました。
毎月「あの手この手」の表紙を飾る「生け花」は
毎日 ペテルギウスの入口に飾られている作品で
「大和華道協会」のみなさんが生けています。

大和市民活動センターは「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」に基づいて設置されています。

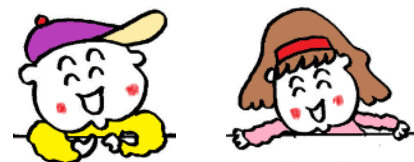
「あの手 この手」 第 166 号 発行日: 2021 年 5 月 10 日

発行: 大和市民活動センター 拠点やまと

大和市民活動センター <開館日 月~土 9:00~18:00>
<休館日 12 月 29 日~1 月 3 日・毎月第 3 月曜日>
〒242-0018 大和市深見西 1-2-17

TEL: 046-260-2586 FAX: 046-205-5788
e-mail: yamato@ar.wakwak.com
<http://www.kyodounokyoten.com/>

子ども食堂特集



子ども食堂は、地域の子供達や保護者などを対象に食事を提供しています。ここでは地域住民のコミュニティとして幅広い年齢層の人を受け入れながら、経済的理由や家庭の事情によって、食事が満足に摂れなかったり、ひとりで食事を摂っていたりする子どもたちを支援する、という社会的な役割を担っています。その為、コロナ禍にあっても、それぞれが工夫を凝らし活動しています。

子ども食堂を運営しているセンター登録団体を地図に落として紹介いたします。多くの子ども食堂が抱えている悩みとして、「子ども食堂を必要としている子どもが来てくれているのかわからない」という悩みがあります。必要としている子どもたちにこの情報を届けてください。

実施団体：NPO 法人地域家族しんちゃんハウス

子ども食堂の名称：子供食堂はぐく

実施場所：大和市南林間 7-1-15

地域家族しんちゃんハウス 2 階

対象：※現在は、放課後児童クラブの子供達、しんちゃんハウス利用者のご利用のみとさせていただきます。

開催日：毎週土曜日 ※毎月最終土曜日は除く

問合せ：046-275-7955（地域家族しんちゃんハウス）

子供食堂「はぐく」は予約制で、仕切板を使用し基本的な対策をとりながら運営しています。

食事の提供はもちろん、世代間交流事業とし詩吟教室を実施。伝統文化に触れ、異世代の人々との交流を行っています。自然や四季が調和された「和食」という食文化を日本人が忘れてきているのでは…と懸念されている中で、少しでも後世に伝える事ができる様に、昆布とかつおぶしでだしをとり和食中心の食事となっています。

これからも子供食堂「はぐく」が地域の居場所や団らんの場となるように居心地の良い空間を提供していきます。

また、皆様よりお米や野菜等の寄付を頂き心より感謝申し上げます。



実施団体：法人さくらの森・親子サポートネット

子ども食堂の名称：わにわに食堂

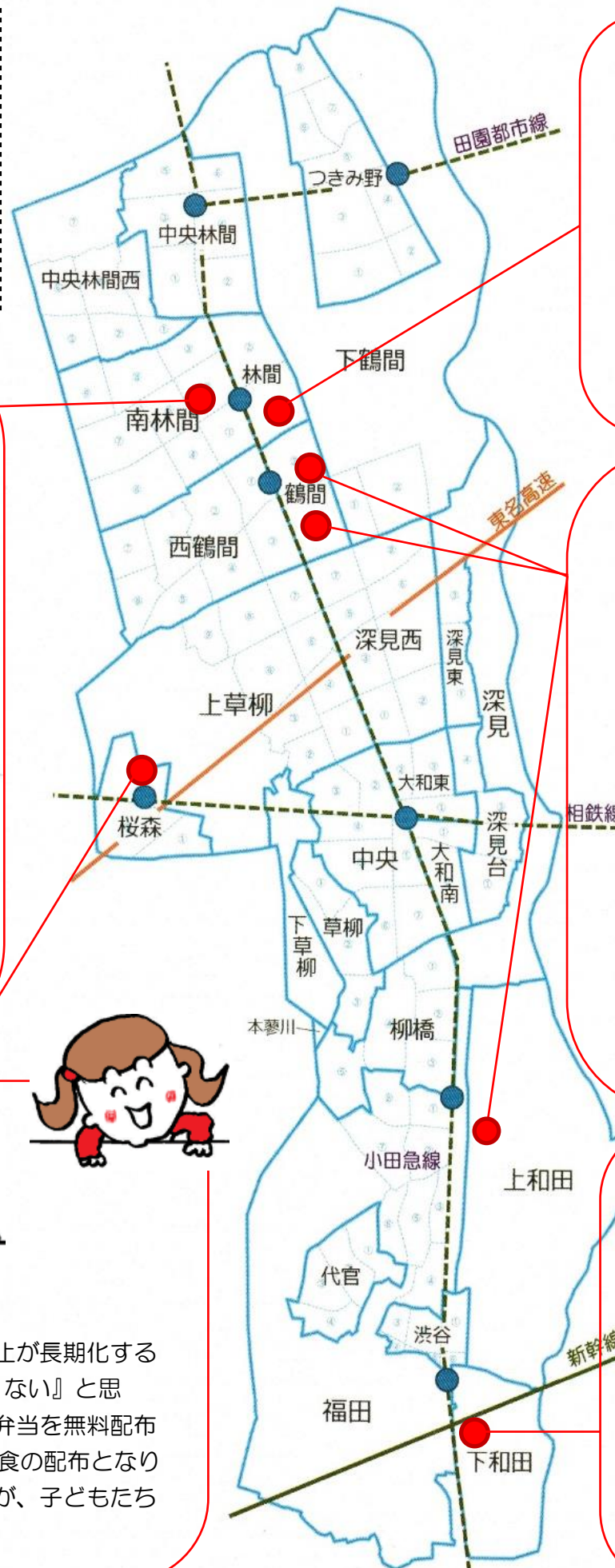
実施場所：大和市桜森 3-4-13 桜森スクエアⅢ

対象：小中学生、親子（こども一人でも入れます）

開催日：第3木曜日 16:00～

問合せ：046-204-7608（さくらの森保育園分園）

「お弁当の配布@わにわに食堂」を実施しました。新型コロナウイルス感染防止が長期化する中、『わにわに食堂を介してつながってきた小学生や親子とのつながりを切りたくない』と思い、小中学校が休校になり給食が取れない子どもや家庭を応援したいと考え、お弁当を無料配布しました。昨年5月14日～6月29日まで週2回、小中高生78人計520食の配布となりました。メニューは豚肉の生姜焼き弁当と鶏肉のから揚げ弁当の繰り返しでしたが、子どもたちの大好きメニューでたいへん喜んでもらいました。



子ども食堂特集

実施団体：総活躍グループ

活動内容：おにぎり弁当 15 個配布

対象：高校生まで

配布日：月～金（祝祭日休み）

時間：14:30～16:00

場所：総活躍 大和（林間 1-15-32 神代ビル 1 階）

問合せ：080-7095-0640（藤井）

障がいを持つ人が働く「就労継続支援B型事業所」を運営しています。事業所で子ども食堂を実施、「おにぎり弁当」を無料で配布しています。コロナ禍で職を失う保護者がいるなか、地域の子どもたちに何かできないかと企画しました。



実施団体：こども食堂プロジェクト@やまと

子ども食堂の名称：たまめし食堂（第4日曜日 11:00～14:00 現在休止）

大和市下鶴間 2777-5 NPO 法人サポートハウスワン・ピースやまと北

宅配弁当：第2日曜日 9:00～ たまめし南ランチ

大和市上和田 1777-4 グリーンヴィラ桜が丘 105 たっち&はーと

宅配弁当、フードパントリー：第4日曜日 8:30～ たまめし北ランチ

大和市鶴間 1-21-19 眞壁ビル 3 階

NPO 法人ワークーズ・コレクティブチャイルドケア内

問合せ：090-6952-8255（永井）

昨年、学校が休校となった期間、こどもたちの居場所を守るため、急遽、週に3日「臨時のたまめし食堂」を開催しました。その後、学校は再開され、臨時のたまめし食堂は役割を終えましたが、こどもたちを集めることができない状況が続いたため、新たに手作り弁当と寄付物資を自宅へ届ける「たまたく」という活動をスタートさせました。現在では、40世帯に120食を届けています。

この間、新たな世帯からの SOS、外国籍市民の方からの SOS、市外からの SOS も寄せられており、世帯の深刻な状況を目のあたりにしています。



実施団体：（公社）青少年育成支援大和の心

子ども食堂の名称：スマイルダイニング

実施場所：高座渋谷 県営住宅いちょう団地

対象：小学生を中心に

開催日：毎月第2/4日曜日 11:00～12:00

問合せ：090-9349-5410（市原）

- ・他の住民に対しても、食の支援と衣類等の支援（無料バザー開催）をしています。
- ・県営住宅では、生活困窮者が多く、また高齢者、独り住まい、ひとり親世帯などが多くいます。食の支援と青少年の健全育成、地域の方々による地域の見守り、孤立防止などを目的として活動を行っています。
- ・食材などやお菓子類などの支援、活動人員などを募集しております。

